

仕 様 書

X 線骨密度測定装置

地方独立行政法人京都市立病院機構京都市立病院

1. 調達物品名

X線骨密度測定装置 一式

2. 調達物品名及び構成内訳

入札対象機種は、次の機種とする。

①GE ヘルスケア・ジャパン X線骨密度測定装置/PRODIGY Fuga Advance

②米国ホロジック社 X線骨密度測定装置/ Horizon W

3. 調達物品に備えるべき技術的要件（仕様）

当該機器の性能、機能及び技術の要求要件は、下記の仕様に示すとおりであり、全て必須の要求要件である。これを満たしていない場合は、入札参加を認めない。

調達物品に備えるべき技術的要件

1. エックス線骨密度測定装置

(1) 装置本体

- 1-1 二種類以上のX線エネルギーを有している DXA 方式であること
- 1-2 スキャン方式は、ファンビーム方式又は鋭角ファンビームスマートスキャン方式であること
- 1-3 検出器数は 16 個以上であること
- 1-4 X線発生方式は、二重X線発生方式のスイッチングパルス方式又は K エッジフィルター方式であること。
- 1-5 装置の設置スペースは稼働時も含め 3.6m×2.5m の範囲で収まること。
- 1-6 スキャン領域は、195cm x 60cm 以上であること。
- 1-7 キャリブレーションは、専用プログラムを有し、自動校正されること。
- 1-8 測定部位は、腰椎正面、大腿骨、前腕骨、腰椎側面、人工股関節、小児腰椎、小児大腿骨、全身骨、非定型骨折解析、海綿骨構造指標ソフト(TBS)ソフトが可能であること。
- 1-9 人工股関節ソフトのグルーインの ROI は、解析ができること
- 1-10 測定時間は腰椎および大腿骨が最速で 10 秒程度であること。
- 1-11 腰椎正面及び大腿骨の測定結果を 1 枚のレポートに表示できること。
- 1-12 腰椎ポジショナ、大腿骨ポジショナ、人工股関節用ポジショナをそれぞれ有すること
- 1-13 腰椎ファントムを有すること。
- 1-14 電源は 100V、AC50/60Hz、15A 又は単相 100V/20A 3ピンで使用できること

(2) 制御用デスクトップコンピューター

- 2-1 80GB以上のハードディスクを有していること。
- 2-2 RAMは8GB以上であること
- 2-3 腰椎正面、大腿骨の測定において日本人の標準値を有すること。
- 2-4 17インチ以上の液晶モニターを有すること
- 2-5 日本語ソフトウェアを標準的に有すること。

(3) 外部記憶装置及び出力装置

- 3-1 500GB以上の記憶装置を有すること。

(4) 周辺機器

- 4-1 パソコンデスクを有していること。
- 4-2 DICOM対応ソフトを有し、院内ネットワークとの接続が可能であること。
- 4-3 腰椎ファントムを有すること。
- 4-4 専用プリンターを有すること
- 4-5 患者昇降用ステップ台を有用こと。
- 4-6 操作用椅子を有すること。

(5) サービス体制

- 5-1 トラブル発生時に、現場に速やかに訪問し対応ができること。

(6) その他

- 6-1 MWM、PACSに接続すること。
- 6-2 放射線科、打合せの上改修工事を行うこと。
- 6-3 同室での同時曝射の設定を行うこと。
- 6-4 腰椎、大腿骨、どのデータ移行を行うこと。
データ移行後は、それらのデータを反映させ処理できること

以上